

入選

世界中にきれいな水

浦和美業学園中学校 一年 打越 玲奈

みなさんにとって、水はどんなものですか？私にとっての水は、生きるために絶対必要で、しかもきれいでなくては困るものです。しかし、日本ではあたりまえのようにあるきれいな水も、世界には遠くまで行かないと水をくむことができなかったり、汚れている水しかなく、その汚れている水を飲んで、病気になったり死んでしまったりする人が多くいる国があります。

私は小学校五年生のとき、「地球の自然を楽しむ会」というのに参加しました。その時ペットボトルにガゼや小石などを詰めこんで装置を作り、その装置に水を何回か通すとガゼや小石で水がろ過されて、飲めるようなきれいな水になるという実験をしました。この装置の作り方がとても簡単だったので、私は「このような簡単な装置で、水をきれいにすることができるのだから、汚い水しか手に入らない国の人たちも、こういうことを手がかりに、きれいな水が手に入るようになればいいな、と思いました。

日本では汚れた水でも、熱することで殺菌したり、先程のペットボトルの装置でしたようにろ過したりして、水をきれいにできる知識があります。しかし、汚い水しか手に入らない国の人たちは、貧しい国が多く、毎日の暮らしに精一杯で学校にも行けず、どうすればきれいで安全な水を手に入れられるかという知識がありません。

私は、日本を含む先進国とよばれる裕福な国が貧しい国を支援し、きれいな水がいつでも手に入るように、世界の貧しい国を助けられるような仕組みがあればいいと思いました。日本の浄水場のような、汚い水をきれいな水にする設備や、そのきれいな水が、家や学校など自分の近くまで運ばれてくる水道のような仕組みがあれば、汚い水を遠くまでくみに行くことも、その汚い水で病気になったり死んでしまったりすることもなくなると思ったからです。

また、安心で安全な水を作り、便利に使い続けるためにはどうすればいいかということも教えるだけでなく、水を使う時に、気をつけなければならぬことについても教えてほしいと思っています。例えば、下水の流し方や、環境に優しい洗剤を使うこと、便利になったからといって水をむだ使いしないことなどです。私の家でも、食器についた汚れはいらぬ紙でふき取ったり、油を水と一緒に流さないようにしたり、お風呂のお湯を洗濯に再利用したり、自分たちができることに取り組んでいます。小さなことですが、みんなで実行すれば、大きな効果があるのではないのでしょうか。

私たちにとっての水は、生きるためになくはならないものです。そして、その水は、いつもきれいで、安全で、安心して飲んだり使ったりできるものであってほしいと思います。私は、これから先、世界中できれいな水が不自由なく使い続けられるように、設備や仕組みを整え、私たちそれぞれも水を大切に使うことを意識し、できることに取り組んでいかなければならないと思います。